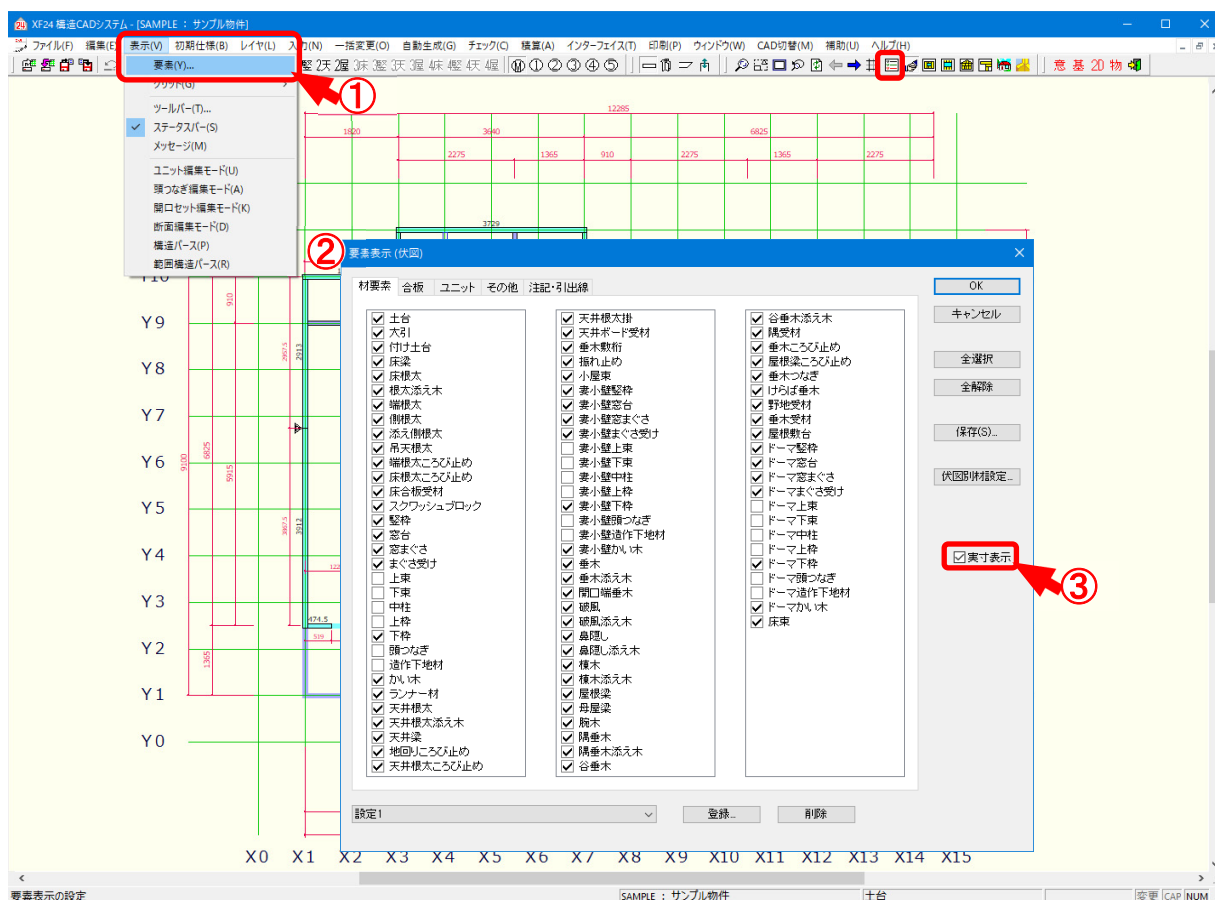


表示－要素



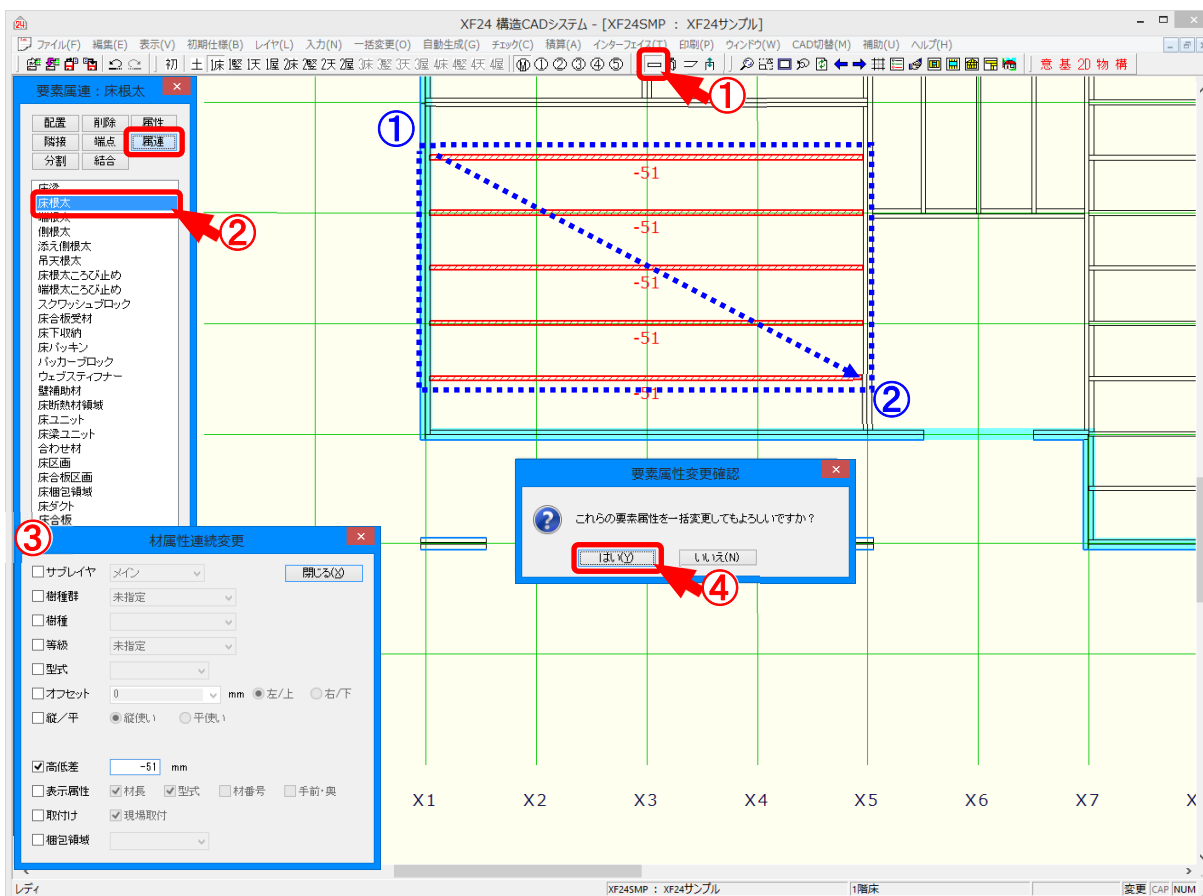
要素では、伏図画面上に表示する各要素の表示／非表示を設定します。

- ①  をクリックするか、〔表示－要素〕をクリックします。
- ② 「要素表示（伏図）」の画面が表示されます。
「材要素」「合板」「ユニット」「その他」「注記・引出線」のタブを選択します。
チェックをつけた要素が伏図（平面）編集モードで表示されます。
- ③ 「実寸表示」にチェックをつけると、伏図画面が実寸で表示されます。



「全選択」「全解除」をクリックすると、選択しているタブの全要素を選択、解除できます。

入力－要素－属連



属連では、指定した材の属性を連続で変更します。

- ①  をクリックするか、〔入力－要素〕をクリックします。
 - ② 「要素」の画面が表示されます。「属連」をクリックし、要素を選択します。
 - ③ 「材属性連続変更」の画面が表示されますので、変更する項目にチェックをつけ、各項目を設定します。
 - ④ 配置された材をクリックすると、材の属性が変更されます。
- また、①～②点を対角にドラッグして選択すると、「要素属性変更確認」の画面が表示されます。「はい」をクリックすると、範囲選択した材を一括で属性変更できます。
- ※ 変更された材属性は、〔入力－要素〕の「属性」で確認できます。

入力要素一属連

属連では、属性連続変更の各項目の説明を行います。

- ① サブレイヤ：材の配置レイヤを一括で変更します。
- ② 樹種群：配置された材の樹種群を一括で変更します。
※ 樹種群を「積層材」に変更すると、材が斜線表示に変更されます。
- ③ 樹種：配置された材の樹種を一括で変更します。
〔補助－マスター編集〕の「樹種・等級マスター－樹種」で樹種群内に設定した樹種が選択できます。
- ④ 等級：配置された材の等級を一括で変更します。
〔補助－マスター編集〕の「樹種・等級マスター－等級」で設定した等級が選択できます。
樹種群で「（在来部材）」を選択している場合は、在来部材内に設定した等級が選択できます。
- ⑤ 型式：配置された材の型式を一括で変更します。
〔補助－マスター編集〕の「材寸マスター－入力・加工用材寸、合わせ型式構成」で設定した型式が選択できます。
- ⑥ オフセット：材配置点からのずれ量を選択または数値を直接入力で変更します。
材配置点より左、右、上、下でオフセット位置が表示されます。
〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－材オフセット」で設定した芯ずれ量が選択できます。
- ⑦ 縦／平：材の縦使い、平使いを一括で変更します。
- ⑧ 寄せ方向：配置された縦枠、まぐさ受け、かい木の寄せ方向を一括で変更します。

入力要素一属連

- ⑨ 高低差：材の高低差の数値を直接入力で変更します。

高低差がプラスの材は赤斜線で表示され、マイナスの材は青斜線で表示されます。

- ⑩ 表示属性：チェックをつけると、指定した材のみ材長、型式、材番号が伏図画面に表示されます。

※「手前・奥」は、〔表示－ユニット編集モード〕のユニット図で寄せ方向が指定された材に表示されます。

- ⑪ 取付け：ユニット内に配置された材を一括で現場取付に変更します。

- ⑫ 梱包領域：材に振り分けた梱包領域の番号を一括で変更します。

「（なし）」で梱包領域を解除できます。

<寄せ方向>

・上 ・芯 ・下

